

令和6年6月定例会 請願文書表 文教厚生委員会

<教育委員会関係> 継続分

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
4	令和5. 9.12	<p>『国へ「国の負担で学校給食費無償化の早期実現を求める意見書」の提出を求める請願』</p> <p>憲法第26条、教育基本法第4条、学校教育法第6条では義務教育の無償を定めているが、実際には、教材費、体操着、学用品、給食費、修学旅行積立金などは保護者が負担しており、中でも給食費の負担が一番重くなっている。</p> <p>文部科学省事務次官通達では、食材費の負担を必ずしも保護者に求めなくてよい旨が記載され、政府も国会で、義務教育の無償化をできるだけ早く広範囲に実現したいとの答弁を行っている。</p> <p>全国の自治体で給食費無償化の動きが広まっており、徳島県では三好市、神山町が全額無償、鳴門市、北島町、板野町、勝浦町、海陽町が半額又は一部を補助するとともに、4市町が臨時交付金を活用した期間限定の負担軽減措置を実施している。</p> <p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、学校給食法に規定されている学校給食の普及充実及び学校における食育の推進の効果も大きい学校給食費の全国一律無償化を実現するため、次の事項を請願する。</p> <p>① 国の負担で学校給食費無償化の早期実現を求める意見書を国に提出すること。</p> <p>(仁木啓人 東条恭子 長池文武 庄野昌彦 竹内義了 達田良子 扶川 敦 岡田 晋)</p>	<p>ひろがれえが お！学校給食費 無償化ネットワ ーク 代表 山田節子</p>

令和6年6月定例会 請願文書表 文教厚生委員会

＜教育委員会関係＞ 新規分

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
8	令和6. 6.10	<p>『ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願』</p> <p>学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。</p> <p>ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数の改善が不可欠である。</p> <p>また、2021年の法改正により、小学校の学級編制標準は段階的に35人に引き下げられ、計画どおりに進捗すれば、2025年度に完了となる。</p> <p>今後は、中学校・高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動を進めるために、更なる学級編制標準の引下げ等、少人数学級の実現が必要である。</p> <p>こうした観点から、2025年度政府予算編成において、次の事項が実現されるよう、国へ意見書を提出願いたい。</p> <p>① 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、更なる学級編制標準の引下げ等、少人数学級について検討すること。</p> <p>② 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。</p> <p>③ 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。</p> <p>④ 教職員の処遇について、新規採用を持続的に確保し、専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、改善に必要な財政措置を講じること。</p> <p>(仁木啓人 東条恭子 長池文武 庄野昌彦 竹内義了)</p>	<p>徳島県教職員組合 委員長 小原 伸二</p>

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
1 0	令和 6. 6.12	<p>『ひとりひとりを大切に徳島でゆきとどいた教育を求める請願』</p> <p>子供たちのひとりひとりが大切にされ、安心して学べるよう、次の事項について請願する。</p> <p>① 定数内欠員補充臨時教員を減らし、正規採用教員を増やすこと。</p> <p>② 徳島県が進める少人数学級増に伴う分の県費単独負担教員を確保し、増やすこと。</p> <p>③ 小・中学校の給食費無償化を国に働き掛けること。</p> <p>(達田良子 扶川 敦 岡田 晋)</p>	<p>ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会 代表者 山本 正美</p>